

地方独立行政法人天王寺動物園
令和5事業年度の業務実績に関する評価結果

令和6年9月

大 阪 市

1 地方独立行政法人天王寺動物園の評価の考え方

市長は、地方独立行政法人天王寺動物園について、「地方独立行政法人天王寺動物園にかかる業務実績評価実施要領」に基づき、次のとおり令和5事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

【評価の基本方針】

- 評価の目的は、年度計画、中期計画の進捗状況等を目標の達成状況や具体的な事例等により評価し、組織・業務等に関する改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上及び中期目標に掲げる大都市大阪にふさわしい「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」の実現に資することとする。
- 市民への説明責任の観点から、中期目標の達成に向けた法人の取組状況等を分かりやすく示すこととする。
- 評価の方法については、法人を取り巻く環境変化等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。

【評価の方法】

年度評価は、「小項目評価」「大項目評価」及び「全体評価」により行う。

「小項目評価」では、当該年度の年度計画に掲げる事項ごとに、法人による自己評価の結果をもとに、法人からのヒアリング等を通じて、年度計画の進捗状況や業務実績に関する事実確認をするとともに、法人の自己評価の妥当性の検証と評価を行う。

また「大項目評価」では「小項目評価」での結果等を踏まえ、中期目標の達成度等も考慮し、評価を行う。

さらに「全体評価」では、項目別評価の結果等を踏まえた総合的な評価について、記述式で評価を行う。

（評価の具体的方法）

（１）「小項目」（全62項目）につき、その達成度を5段階で評価を行う。

- ① 法人が、当該事業年度における業務の実績についての自己評価結果を、所管する建設局に提出する。

自己評価の区分は次のとおりとする。

- V・・・計画を大幅に上回って実施している
- IV・・・計画を上回って実施している
- III・・・計画を順調に実施している
- II・・・計画を十分に実施できていない
- I・・・計画を実施できていない

- ② 建設局が、法人による自己評価を踏まえた小項目の市長評価（案）を作成する。

建設局において、資料確認やヒアリング等を通じて、法人の自己評価、目標設定の妥当性及び目標への取組等を総合的に検証し、年度計画の進捗状況について、I～V

の5段階による評価を行う。

評価区分は、法人の自己評価のそれと同様とする。

- ③ 評価委員会を開催し、法人による自己評価に対する市長評価（案）に関して、評価委員会が意見を申述する。

（２）小項目に関する評価に基づき、「大項目」（全 15 項目）への達成度を5段階で評価を行う。

- ① 建設局において、小項目における5段階評価結果や、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況を踏まえ5段階で評価を行う。

評価の区分は次のとおりとする。

S・・・特筆すべき進捗状況

A・・・計画どおり

B・・・おおむね計画どおり

C・・・やや遅れている

D・・・重大な改善事項あり

小項目について、おおむね「Ⅲ」の評価であれば、大項目は「B」の評価を基本とする。

大項目について、「B」以外の評価を行う場合は、小項目評価でⅣ以上の高評価やⅡ以下の低評価となっている項目について、単に項目数ではなく、項目ごとの内容の中期目標での重要性等を考慮し、総合的に判断の上、その理由を示す。

- ② 大項目の市長評価（案）について、評価委員会にて議論を行い、評価委員会が意見を申述し、その意見を反映した評価を最終的な当該事業年度における法人の評価とする。

（３）各項目の評価を踏まえた総合的な評価を「全体評価」として、記述式で行う。なお、評価項目にはない事項でも中期目標の達成に資するものは、ここで評価を行う。

- ① 建設局において、各項目の評価結果や中期目標の全体的な進捗状況を踏まえ、記述式で市長評価（案）を作成する。

- ② 市長評価（案）について、評価委員会にて議論を行い、評価委員会が意見を申述する。なお、次期事業年度に向けた改善等の意見があれば、併せて記載する。

●全体評価

以下のとおり大・小各項目別の評価結果を踏まえ、大阪市地方独立行政法人天王寺動物園評価委員会における評価委員の意見を参考に、令和5事業年度における地方独立行政法人天王寺動物園の業務実績に関する全体評価を定めた。

全体を通しておおむね計画どおりに進捗している。

新獣舎は令和5年4月に「ペンギンパーク&アシカワーフ」が、11月に「鳥のセカイ」がオープンし、園の魅力向上や入園者数の増加に繋がった。また、能登半島地震で甚大な被害を受けた、のとしま水族館からカリフォルニアアシカ1頭を受け入れ、動物園の立場から被災地支援に協力することができた。

動物福祉向上に関する取組や繁殖等、法人設立時より力を入れてきた分野が成果を上げ、令和5年度はフラミンゴやヨウスコウワニの繁殖に成功した。また、繁殖活動や日常の飼育から得られる知見について情報を整理し各班単位で研究を進め、研究会等での発表にまで結びついていることは、調査研究活動が属人的な活動ではなく組織の活動として定着してきていることを示している。この点については計画より進んでいると評価できる。

一方で、令和5年10月にチンパンジー逸走事故を起こし、来園者の安全を脅かした。これについては対策を講じてはいるが、今後もリスク管理の在り方や安全対策について、検討を継続してほしい。また収入の確保については計画どおり進捗していないところもあるため、ファンクラブ会員数の増加に向けて取り組むとともに、地方独立行政法人であることを活かして寄附等を戦略的に増やすことで魅力的な動物園づくりをより一層積極的に進める努力を求めたい。

●項目別評価

大項目		小項目	
S	1項目	V	0項目
A	3項目	Ⅳ	7項目
B	11項目	Ⅲ	53項目
C	0項目	Ⅱ	2項目
D	0項目	I	0項目
合計	15項目	合計	62項目

大項目別に、評価の概要を次ページ以降に示す。

なお、詳細については、別添の評価シートを参照のこと。

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1-1 動物展示の充実と快適な園内環境の創出による動物園の魅力向上

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ JAZA（日本動物園水族館協会）の個体群管理計画に基づく種別管理の担当等を受嘱しているほか、令和5年度は第23回種保存会議を開催し、他園との信頼構築に努めている。これは展示動物の計画的な導入・確保にも繋がる取組であり評価できる。 ➤ イベント実施や情報発信にあたっては、分析や工夫を行いながら内容の充実を図っている。 ➤ 上記より、計画どおり進んでいることから、A評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
12	0	1	11	0	0

1-2 動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 来園者の行動変容に繋がる取組として、ボランティア制度や様々なプログラムを継続実施している。 ➤ 各取組において、アンケート等を実施し、内容の充実を図っていることが認められる。 ➤ 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

1-3 動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術の確立

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 独法化以降、継続的に環境エンリッチメント及びハズバンドリートレーニングを着実に実施しており、ソフト面での飼育管理機能の強化に努めていることが認められる。 ➤ また、動物福祉に配慮した獣舎整備に向けて、現獣舎の補修・点検や新獣舎の整備を実施している。 ➤ 上記より、計画どおり進んでいることから、A評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
6	0	1	5	0	0

1-4 繁殖及び調査研究活動の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 繁殖に向けた取組をチェックポイントとして見える化し、継続的な効果検証を実施している。その結果、当園では9年ぶりのフラミンゴの繁殖に成功しただけでなく、国内2園目のヨウスコウワニの繁殖にも成功したことから、繁殖技術の向上が見受けられる。 ➤ 法人内で複数の研究を進めているだけでなく、成果がまとまったものについては研究会等で発表も行い、査読付きの雑誌に掲載される等、目覚ましい成長をとげており、国内外の動物園からの信頼向上にも繋がっている。 ➤ 上記より、特筆すべき進捗状況であると判断できることから、S評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
7	0	3	4	0	0

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

2-1 自律的な組織経営

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	機動的な組織体制の構築に向けた取組を行っており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

2-2 人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	継続して人材育成にかかる研修等を適切に実施している。 インセンティブが適正に働く人事評価制度の確立に向け、現行制度の見直しを進めている。 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
4	0	0	4	0	0

2-3 効果的・効率的な業務執行

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	PDCAサイクルに基づいて各種制度を運用できており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

3 財務内容の改善に関する事項

3-1 収入の確保

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ ファンクラブ会費収入は目標値には達しなかったものの、令和4年度以降、加入者数及び会費収入額は増加傾向にある。 ➤ また、新規入園者の獲得に向けた広報や企画、渉外活動を着実にっており、入園者数はコロナ前の水準に近づいてきている。その結果、前年度より入園料収入、入園料外収入いずれも増加した。 ➤ 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
6	0	1	4	1	0

3-2 経費の節減

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 光熱水費の削減に向けた取組を実施するなど、経費削減に努めており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2	0	0

4 その他業務運営に関する重要事項

4-1 内部統制の強化

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 継続して内部統制にかかる取組を適切に実施しており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
8	0	0	8	0	0

4-2 来園者の安全確保

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 令和5年10月にはチンパンジー逸走事故を発生させ、来園者を避難させる必要が生じた。 ➤ 一方で、老朽化による設備の不具合等が発生したが、随時、対策を行い、来園者の安全確保ができるようマニュアルを改定するなど継続して見直しを続けている。 ➤ 上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
4	0	0	3	1	0

4-3 職員の安全衛生管理

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0

4-4 環境に配慮した取組の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 継続して環境に配慮した取組を着実に実施しているだけでなく、食品ロス削減に向けた企業からの飼料の受入等新たな連携を実施するなど積極的に拡大しており、計画どおり進んでいることから、A評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	1	0	0	0

4-5 情報公開の推進

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0

4-6 BCPの策定

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや 遅れている	D 重大な 改善事項あり
評価理由	➤ 現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。				

【参考】小項目評価結果

全項目数	V	IV	III	II	I
1	0	0	1	0	0